

2026年度 加須市

宇宙STEAM教育 プロジェクト

活動のご紹介

加須発、宇宙経由、未来行き。

歴史と文化のふるさとから宇宙起業家が育つまちへ

加須市教育委員会と株式会社DigitalBlastは、
地域の食農教育を“宇宙”とつなぎ、子どもたちの好奇心と挑戦する力を育む
「加須市宇宙STEAM教育プロジェクト」を進めています。



株式会社DigitalBlastは、 加須市教育委員会と連携協定を締結し 本プロジェクトを推進しております。

〈連携の目的〉

本協定は、加須市とDigitalBlastが互いの資源や知見を有効に活用し、児童生徒の探究的な学びの充実を図ることで、課題の発見・解決や社会的な価値の創造に結び付けていく資質・能力を育成するとともに、加須市民の宇宙への夢を育み、未来を創造する拠点として加須未来館を活用することを目的とします。

〈連携事項〉

本協定に基づき、加須市とDigitalBlastは以下の取組みについて連携し、協力します。

- 1 学校教育における、宇宙等をテーマとした探究的な学びのカリキュラムの共同開発及び実施等に関すること
- 2 加須未来館における宇宙に関する講座や展示等の実施等に関すること
- 3 その他、加須市とDigitalBlastが必要と認める事項に関すること



Program 01 “加須宇宙米プロジェクト”の実施

2025(令和7)年10月26日(日)、加須市で生産されたお米の種籾は種子島宇宙センターより打ち上げられたH3ロケット7号機および新型宇宙ステーション補給機1号機(HTV-X1)によって国際宇宙ステーション(ISS)へと送られました。

この取り組みはJAXAのきぼう有償利用制度を活用して実現し、ISS・「きぼう」日本実験棟で保管された“加須宇宙米”は地球へ戻り、加須の地で栽培される予定です。



Program 02 “宇宙×食農×STEAM教育”活動の実施

2025(令和7)年度より、加須市内の小中学校を対象に、宇宙をテーマとしたSTEAM教育プログラムを実施しています。

ロケット工作、宇宙ステーションでの植物栽培、宇宙飛行士の訓練、未来の食や資源循環などを題材に、理科・算数(数学)・ものづくり・食農・地域学習など様々な教育課程を横断した学びの機会を創出しています。この取り組みは2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)や宇宙科学技術連合講演会などでも紹介されました。



Program 03 そして、“宇宙起業家”の育つまちへ

加須市は宇宙をテーマにした新しいSTEAM教育プログラムを通じて、子どもたちの好奇心や探究心を育み、未来へ挑戦する力を伸ばしていきます。

宇宙のような未知のテーマにも好奇心を持って向き合い、自ら問いを立て、学び、仲間と協力しながら新しい価値を生み出す。そんな経験が、未来の宇宙起業家を育てます。

歴史と文化に根ざしたふるさと・加須から、宇宙を舞台に未来を切り拓く子どもたちが育つまちを目指します。

